

地域の芸術・芸能を牽引する 500 人の団体

今年の秋に創立 50 周年を迎えた福岡文化連盟という団体をご紹介します。

福岡文化連盟は、東京オリンピックが開催された翌年の昭和 40 年に福博の有力文化人、政財界人の呼びかけで発足した福岡市文化連盟が前身で、福岡市の市民文化の育成や発足をはかるために、文化事業の主催、後援、他地域との文化交流などを活発に行うことを目的とした団体です。

設立当初は、伝統芸能、音楽、演劇映像、美術、文芸の 5 部会でした。半世紀を過ぎた今では、吟剣詩舞やバレエなど幅広いジャンルで 10 部会まで拡大し、福岡都市圏を中心に活動しています。現在会員 500 人程度、ほかにも 46 の企業や団体が賛助会員となり活動を支援しています。

活動内容は、各部会の発表会や展覧会だけでなく、文化連盟祭りや歳末チャリティ作品展、アジア・欧米との海外交流など、多彩に親睦、相互研鑽を繰り広げています。

なかでも総力を挙げているイベントに今年で 10 回目となる「福岡文化連盟祭り」があります。美術展と舞台公演を毎年交互に開催し、今年は 50 周年記念として、12 月 13 日に博多座で「沖の島」をテーマとする歴史ロマンのコラボレーション劇を制作し、舞台劇「舞姫」を上演します。2017 年の世界文化遺産登録を目指している『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群を支援しようと企画されたそうです。ご興味のある方は歓劇されてはいかがでしょうか。

これからも芸どころ博多の発展を願うばかりです。



理事長 多田 昭重
(西日本新聞社前会長)

(文責：五十嵐 史絵)



平成 26 年 12 月 15 日 舞台劇「望東尼」上演